



# 組 合 運 営 Q&A

## 質問内容

組合の理事が理事会に出席できない時は、代理人を参加させることができるか。

## 回答内容

組合の理事は個人的信頼に基づき選任され、かつ、組合と委任契約を締結した者であるから、その権利の行使及び義務の履行は、理事自らの意思及び行為として行われるべきである。また、中協法第36条の6第3項においては、組合が特に定款に定めた場合には書面によって理事会の議決に参加することができるとしていることの反対解釈から、理事は、代理人によって議決権を行使することはできないと解する。

# 「小野川温泉開湯祭」と「バイナリー発電所」開所式

## ～県内初の最先端温泉発電の実証実験開始!～

11月8日(日)、米沢市の小野川温泉において「小野川温泉開湯祭」並びに「バイナリー発電所」の開所式が行われた。

小野川源泉協同組合(竹田昭雄理事長)、山形大学東北創生研究所、装置の開発を担当したアネスト岩田の関係者ら約40名が出席し、実験成功を祈願した。

県内初となる温泉熱を利用した発電の実証試験が始まった。太陽光や風力とは異なり電力を安定供給でき、年間稼働率は太陽光の4倍にあたる。水よりも沸点の低い代替フロンを温泉熱で加熱させ、その蒸気でタービンを回し発電する。熱源と低沸点媒体のふたつで発

電することから、「2元」を意味する「バイナリー発電」と呼ばれている。本県は、全市町村に温泉があり、再生エネルギー活用の一つとして期待されている。

当日は、小野川温泉開湯1181年祭も行われ、100円で各旅館の温泉に入り放題のイベント、露天風呂の「小町の湯」の無料開放や流しそば等が開催され多くの人で賑わった。

